

仕事のスキルを地域に生かす、働く世代のまちづくり

大阪 **ええまち**
アカデミー



活かしてなんぼ
活かしていきたい
児童遊園の活用をみんなで考えよう

土井早織 (リーダー)
澤坂謙吾 花岡沙織
鈴木千賀子 大上浩世



①実践プランの背景・課題



- ・こどもの育ちを地域で見守るまちづくりをしたい
- ・遊具補修のための寄付を募る「児童遊園」の記事
管理委員会の高齢化、担い手がいない
などの理由で、継続に困難をきたし、
廃園になるところもあると知る
- ・知らない間にこどもの遊び場がなくなっていく現状
を、まちの人に問いかけてみたい
- ・多世代交流を生み出すきっかけになってほしい

④現場見学・トライアル

(チームでやってみたこと)

- ・三西皓養社児童遊園の管理委員会の
会長にヒヤリング、大正区児童遊園視察
- ・課題整理、SNS準備(ペルソナ設定)
- ・問題に対し解決法を模索する(各所調査)
随時、三西児童遊園の会長にも報告
- ・三西地域のすみれキッチン参加
(欠食児童の食事提供と高齢者のふれあい喫茶)
- ・三西皓養社児童遊園でのイベント実施

②やってみようと思ったこと・着眼点

(チームになって考えたこと)

- ・児童遊園はそれぞれ独自の運営をしているので、
一つの児童遊園に絞る
- ・課題を整理し、現在と未来の児童遊園の状態に
ついて考える
- ・取り組む活動と、対象となるペルソナを絞る
- ・わたしの居住区ではないため、地域の人との繋が
りを作り、まちの様子を知る手がかりをつくる

③事例調査・文献調査(チームで調べてみたこ と)

- ・児童遊園に関する文献
- ・児童遊園の現状(大正区地域協働課)
- ・大正るつぼんミナの語り場(まちの人が集まるコ
ミュニティ)で、まちの仕組みや雰囲気を知る
- ・児童遊園イベント参加(清掃・焼芋)
- ・落ち葉コンポストについて
- ・藤棚や樹木の剪定について
- ・SNSについて

活動中の気持ちの変化はこんな感じでした…

①実践プランの背景・課題

・寄付集めの記事を目にしてから、ずっと気になっていた児童遊園。一人で調べ始めるが、運営が大変そう。

高齡の方が困っている

自分に何かできないだろうか。。。

・ええまちアカデミーで仲間を募ることができる！
応募してみよう！



④現場見学・トライアル

・児童遊園管理委員会の会長様への大事なヒアリングを、メンバー全員で一緒にうかがえたことが良かった。

情報を整理してまとめる。ひとりでは、受け取り方が偏ってしまう可能性があると思っていたので、すり合わせることができて安心だった。

・イベント実施は、家族で参加し、実際に多世代や子どもたちと触れ合い、一番楽しい瞬間だった。準備から本番までひとりでもできる小さなイベント。



②やってみようと思ったこと・着眼点

・複雑な児童遊園の課題や背景を、人に分かりやすく伝えることが難しい。。。

チームで課題整理をしてみたら頭の中が整理され、

人に伝えやすくなった！！

・言語化 図式化
わかりやすく整理することが、
苦手な自分にも気づき、
チームの存在がありがたかった！



③事例調査・文献調査



・大正区内に在住在勤、移動は車の生活。昼休みや出勤前後の子供送迎の隙間時間にリアル聴取し、その他は電話やネット検索などスマホで調査。

・知りたいことをどんどん調べていくことは、いろいろな人に児童遊園の話をきいてもらえる機会になり、有意義。とても楽しく実施できたので自分に向いている作業と認識。それを報告できる仲間がいることがうれしくて心強かった。

①実践プランの背景・課題

児童遊園
(児童福祉法)

6箇所

目的

安全かつ健全に遊ぶことで
児童の健康増進や、
情緒を豊かにすること

維持管理

児童遊園管理委員会
(区から委託されたまちの人)

費用

半額補助金 (上限あり)
半額自費や寄付金

都市公園
(都市計画法)

23箇所

目的

区域内のひとの休息、観賞、
散歩、遊戯、運動等
総合的な利用に供することを目的

維持管理

建設局や公園事務所

費用

大阪市が負担

①実践プランの背景・課題

児童遊園を知るきっかけとなった区報

「こんにちは大正」の記事

地域だより

三軒家西地域まちづくり実行委員会

仕事のスキルを地域に生かす、働く世代のまちづくり

大阪 **ええまち** アカデミー

1968年 子どもたちにとって安全に遊べる広場が無い事を憂いた篤志家が、空き地を整備して近隣住民に開放して下さったのが、三西皓養社児童遊園です。ちびっこ広場やアンパンマン公園とも呼ばれて、三軒家や泉尾の住民に50年以上愛され続けています。



月一回の定期清掃には地域の枠を超えて多くの方々が集まってくれています。遊んでいる子ども達にもゴミ拾いを手伝ってもらいます。そう、公園は行政が管理してくれますが、児童遊園の維持は住民にゆだねられています。季節の草花の手入れや、防犯対策、災害時の復旧などは、近隣の方々の「子どもたちの為」という思いで行われています。

しかし、何十年という歳月に蝕(むしば)まれた設備は、次第に安全性を維持できなくなっています。

危険物の撤去や補修には大きな費用が発生します。「安全面を考慮して閉鎖しては？」との声も上がる中、維持継続のために昨年夏に周辺町会から有志を募り、改修にむけた取組みを運営委員会で始めました。

委員会で議論を重ね、この児童遊園を守るための「募金活動」を三軒家西地域から発信する事にしました。

皆様のご協力をお願いします。



①実践プランの背景・課題

三西皓養社児童遊園の 児童遊園管理委員会のしごと

毎日朝夕の開門閉門
樹木や植物の世話
落ち葉処理や剪定

遊具の点検 修理 補修
老朽化した遊具の撤去
公園の今後の計画など



**担い手の高齢化
継承が課題**

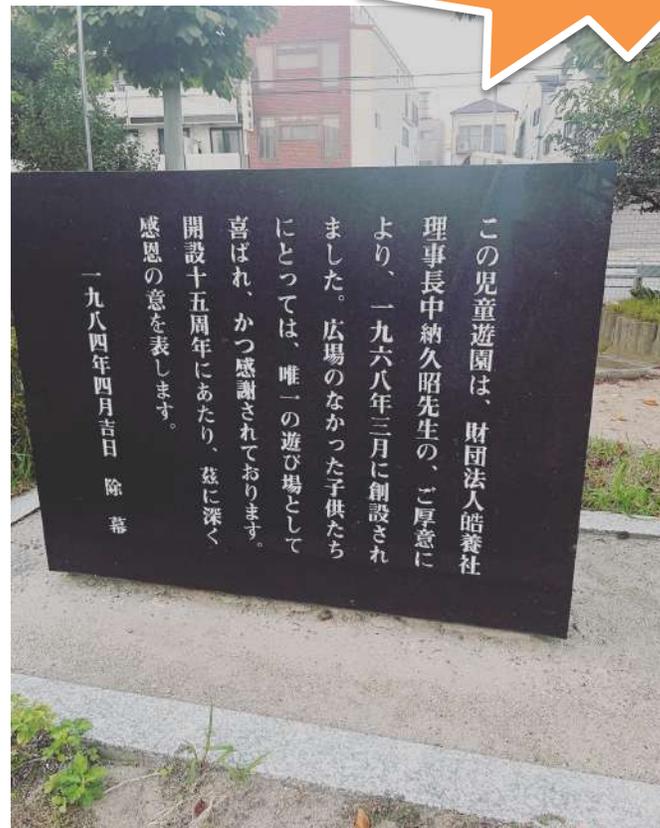
①実践プランの背景・課題

三西皓養社児童遊園の様子

数年前に
閉園の危機が
あった



ベンチ型のブランコ 立ちこぎすると3人でも楽しめる



1968年から続く歴史 当時
は寺子屋があった



立派な藤棚と、めずらしい土管

①実践プランの背景・課題

- ・子育て中の今だからこそできることをしたい
- ・遊具補修のための寄付を募る「児童遊園」の記事
管理委員会の高齢化、担い手がいない
などの理由で、継続に困難をきたし、
廃園になるところもあると知る
- ・多世代交流を生み出すきっかけになってほしい。
- ・知らない間にこどもの遊び場がなくなっていく現状
を、まちの人に問いかけてみたい

④現場見学・トライアル

- (チームでやってみたこと)
- ・三西皓養社児童遊園の管理委員会の
会長にヒヤリング、大正区児童遊園視察
 - ・課題整理、SNS準備(ペルソナ設定)
 - ・問題に対し解決法を模索する(各所調査)
随時、三西児童遊園の会長にも報告
 - ・三西地域のすみれキッチン参加
(欠食児童の食事提供と高齢者のふれあい喫茶)
 - ・三西皓養社児童遊園でのイベント実施

②やってみようと思ったこと・着眼点



- (チームになって考えたこと)
- ・児童遊園はそれぞれ独自の運営をしているので、
一つの児童遊園に絞っていく
 - ・課題を整理し、現在と未来の児童遊園の状態に
ついて考える
 - ・取組む活動と、対象となるペルソナを絞る
 - ・わたしの居住区ではないため、地域のコミュニティ
活動に積極的に参加し、地域の人との繋がりを作り、
まちの様子を知る手がかりをつくる

③事例調査・文献調査

(チームで調べてみたこと)

- ・児童遊園に関する文献
- ・児童遊園の現状(大正区地域協働課)
- ・大正るつぼんミナの語り場(まちの人が集まるコ
ミュニティ)で、まちの仕組みや雰囲気を知る
- ・児童遊園イベント参加(清掃・焼芋)
- ・落ち葉コンポストについて
- ・藤棚や樹木の剪定について
- ・SNSについて

活動中の気持ちの変化はこんな感じでした…

①実践プランの背景・課題

▪ 寄付集めの記事を目にしてから、ずっと気になっていた児童遊園。一人で調べ始めるが、運営が大変そう。高齢の方が困っている自分に何かできないだろうか。。。

▪ ええまちアカデミーで仲間を募ることができる！
応募してみよう！

④現場見学・トライアル

▪ 児童遊園管理委員会の会長様への大事なヒアリングを、メンバー全員で一緒にうかがえたことが良かった。

情報を整理してまとめる。ひとりでは、受け取り方が偏ってしまう可能性があると思っていたので、すり合わせることができて安心だった。

▪ イベント実施は、家族で参加し、実際に多世代や子どもたちと触れ合い、一番楽しい瞬間だった。準備から本番までひとりでもできる小さなイベント。



②やってみようと思ったこと・着眼点

▪ 複雑な児童遊園の課題や背景を、人に分かりやすく伝えることが難しい。。。チームで課題整理をしてみたら頭の中が整理され、

人に伝えやすくなった！！

▪ 言語化 図式化
わかりやすく整理することが、
苦手な自分にも気づき、
チームの存在がありがたかった！



③事例調査・文献調査



▪ 大正区内に在住在勤、移動は車という生活。昼休みや出勤前後の子供送迎の隙間時間にリアル聴取し、その他は電話やネット検索などスマホで調査。

▪ 知りたいことをどんどん調べていくことは、いろいろな人に児童遊園の話をきいてもらえる機会になり、有意義。とても楽しく実施できたので自分に向いている作業と認識。それを報告できる仲間がいることがうれしくて心強かった。

② やってみようと思ったこと・着眼点 課題整理

SWOT分析

			外部環境	
			機会	脅威
			<ul style="list-style-type: none"> ● プロボノPJ ● 若者の社会課題の関心の高まり 	<ul style="list-style-type: none"> ● 大阪市の方針は廃止 ● 少子化、高齢化 ● 興味関心の低下 ● 都市公園の整備
内部環境	強み	<ul style="list-style-type: none"> ● 歴史、ストーリーがある ● 愛着 ● 近さ 	活動のきっかけとなるイベントの実施	興味関心を引き出す課題提起 集まって話をするネタが多い
	弱み	<ul style="list-style-type: none"> ● 資金が少ない ● 認知度が低い ● 古い遊具 	認知度を高めるための広報活動	無関心からの脱却

①実践プランの背景・課題

- ・子育て中の今だからこそできることをしたい
- ・遊具補修のための寄付を募る「児童遊園」の記事
管理委員会の高齢化、担い手がいない
などの理由で、継続に困難をきたし、
廃園になるところもあると知る
- ・多世代交流を生み出すきっかけになってほしい。
- ・知らない間にこどもの遊び場がなくなっていく現状
を、まちの人に問いかけてみたい

④現場見学・トライアル

(チームでやってみたこと)

- ・三西皓養社児童遊園の管理委員会の
会長にヒヤリング、大正区児童遊園視察
- ・課題整理、SNS準備(ペルソナ設定)
- ・問題に対し解決法を模索する(各所調査)
随時、三西児童遊園の会長にも報告
- ・三西地域のすみれキッチン参加
(欠食児童の食事提供と高齢者のふれあい喫茶)
- ・三西皓養社児童遊園でのイベント実施



②やってみようと思ったこと・着眼点

(チームになって考えたこと)

- ・児童遊園はそれぞれ独自の運営をしているので、
一つの児童遊園に絞っていく
- ・課題を整理し、現在と未来の児童遊園の状態に
ついて考える
- ・取組む活動と、対象となるペルソナを絞る
- ・わたしの居住区ではないため、地域のコミュニティ
活動に積極的に参加し、地域の人との繋がりを作り、
まちの様子を知る手がかりをつくる

③事例調査・文献調査(チームで調べてみたこと)

- ・児童遊園に関する文献
- ・児童遊園の現状(大正区地域協働課)
- ・大正るつぼんミナの語り場(まちの人が集まるコ
ミュニティ)で、まちの仕組みや雰囲気を知る
- ・児童遊園イベント参加(清掃・焼芋)
- ・落ち葉コンポストについて
- ・藤棚や樹木の剪定について
- ・SNSについて



活動中の気持ちの変化はこんな感じでした…

①実践プランの背景・課題

▪ 寄付集めの記事を目にしてから、ずっと気になっていた児童遊園。一人で調べ始めるが、運営が大変そう。高齢の方が困っている自分に何かできないだろうか。。。

▪ ええまちアカデミーで仲間を募ることができる！
応募してみよう！

④現場見学・トライアル

▪ 児童遊園管理委員会の会長様への大事なヒアリングを、メンバー全員で一緒にうかがえたことが良かった。

情報を整理してまとめる。ひとりでは、受け取り方が偏ってしまう可能性があると思っていたので、すり合わせることができて安心だった。

▪ イベント実施は、家族で参加し、実際に多世代や子どもたちと触れ合い、一番楽しい瞬間だった。準備から本番までひとりでもできる小さなイベント。



②やってみようと思ったこと・着眼点



▪ 複雑な児童遊園の課題や背景を、人に分かりやすく伝えることが難しい。。。チームで課題整理をしてみたら頭の中が整理され、

人に伝えやすくなった！！

▪ 言語化 図式化
わかりやすく整理することが、
苦手な自分にも気づき、
チームの存在がありがたかった！



③事例調査・文献調査



▪ 大正区内に在住在勤、移動は車という生活。昼休みや出勤前後の子供送迎の隙間時間にリアル聴取し、その他は電話やネット検索などスマホで調査。

▪ 知りたいことをどんどん調べていくことは、いろいろな人に児童遊園の話をきいてもらえる機会になり、有意義。とても楽しく実施できたので自分に向いている作業と認識。それを報告できる仲間がいることがうれしくて心強かった。



④現場見学・トライアル

2024.1.14

清掃活動前に 子供向けイベント実施



報告ショート動画
個人SNSで発信

1歳から70代まで多世代が参加 約15名
ほぼ面識がある人たちの参加で、
それ以外は公園で遊んでいる家族を誘った。



地域で活動しているこども食堂や飲食店など
参加された方は、**地域の方々と繋がりができ**
て、よい場となったと感想をいただく。

その他の大人の方は、体力の衰えを実感さ
れ、

運動しよう、時々計測にこようと
前向きな感想をいただく。



みんなで走ろう!

日時: 2023.1.14
14:00~15:00

場所: 三西皓養社児童遊園
(アンパン公園)
大阪市大正区泉尾1-8

④現場見学・トライアル

2024.1.14

清掃活動

約20人参加

1歳から80代まで多世代
ミドル世代の参加が増加
(こども食堂の方々、お弁当屋さんのご主人等)

子ども連れ2~3組

イベントに続いて両方
参加してくれたのは1人
寒い時期なのに
参加してくださる方は
少し増えている



報告ショート動画
個人SNSで発信



⑤実践プランの再設定

(③④を経てチームで検討し直したこと・やってみたからこそ分かったこと)

SNSをみてイベントにきてもらえたのは、0組。ちらしを見てきてくれたのは1組。

その他面識のある地域の方々が来てくれた。

シニアの方はゴールテープを持ってきて、自然と役割をかって出て手伝って下さる。

児童遊園に関心を向けて足を運んでもらうためのこのイベント。

現状での集客は地域での顔見知りを増やすこと、ちらしを置いてもらうことなどが、一番近道であるとわかった。

4月より児童遊園管理委員会の副会長の席につかせていただく予定。

児童遊園管理委員会のオフィシャルSNSページを作ることができる。

子育て世代が児童遊園のSNSに直接アクセスことは難しいと思われるので、関心をもってもらうために、もうワンクッション必要。

既存のLINEオープンチャットを活用する等、SNSのコンセプトしっかり考えていきたい。

⑤実践プランの再設定

リーンキャンバス

<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 運営に対する無関心 ● 管理の人手不足 ● 資金不足 	<p>ソリューション</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 参加しやすい運営活動 ● 活動の可視化・広報 ● 寄付金を集める 	<p>独自の価値提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 断絶している世代間交流の復活 	<p>圧倒的な優位性</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 1つ以上の事例 ● 世代交代による維持性 	<p>顧客セグメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 児童遊園の運営委員(中嶋さん) ● 地元住民
<p>主要指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 活動してくれた人の数 ● SNSのいいね!数 ● SNSのリツイート数 ● 寄附金額 ● 児童遊園の訪問者数 			<p>チャンネル</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 児童遊園 ● SNS ● PTA ● 学校イベント ● 区民イベント ● 市民イベント 	
<p>コスト構造</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 清掃活動 ● 植物の剪定 ● 遊具のメンテナンス ● ゴミ箱の管理・維持 ● 電気 ● 水道 			<p>収益の流れ・ソーシャルインパクト発生の仕組み</p> <p>→「活動が与える影響・流れ」へ</p>	

遊具が無くても楽しい遊び
→自然や歴史を生かす

小さなイベント
既存の活動のイベント化
→清掃活動を遊び&学びの場に

寄付金集め
・地元企業の協力
・クラファン
・収益事業??

児童遊園への関りで
元気に高齢化

できる人ができる時にできることを..気づけばちょいボラ

SNS発信
利用者口コミ

取組開始

済

参加しやすい運営活動のために

管理委員会(多世代)

- ・ 管理委員会内で情報を常にシェアし役割を分散しやすくする
- ・ 外部機関、皓養社、区とのやりとりを共有
(Gmailグループメールをオフィシャル窓口にする)

活動の可視化

管理委員会(多世代)

- ・ 活動の記録をSNSに残していく
(note またはfacebookページ)
- ・ イベント告知や報告、季節情報、歴史背景、寄付集めの情報などを発信していく(対企業も意識)
(Instagram、X、facebookページ)

⑤実践プランの再設定 SNS

親世代に向けて

- ・ 閲覧、いいね、フォロー、シェア 関心からちょいボラへ
- ・ イベント企画実施や地域の情報発信
大正ママパパ部を開設する(Instagram、X)
- ・ 地域の子育て世代に役立つ情報を相互発信できる場
(既存大正ママパパ部屋の承認制LINEopenチャット)
- ・ 大正ママパパ部屋LINEopenチャット
大正ママパパ部Instagram、Xで広報したイベントに参加

親世代に向けて

- ・ 大正ママパパ部(Instagram、X)、に、
管理委員会公式ページ(Instagram、X)の情報をシェアする
管理の仕事の面白さ、子供と参加する楽しさなどを付け加えて伝える

⑥ 今後の活動プラン(今後1~2年の活動イメージ)

児童遊園を知ってもらう

1回/月 小規模イベント & 清掃活動 地道にコツコツ・・・
児童遊園の窓口となるSNSを開設 地域の子育て世代にフックするSNSを開設

児童遊園の横のつながりをつくる

大正区内、近隣区等。イベント、剪定、ごみの問題など対策を共有

児童遊園の可能性を広げる 児童遊園について語り合う場をつくる

教育機関と連携 環境学習 落ち葉コンポスト 実験的に始める
子育てサークルと連携。外遊びの会で児童遊園利用を提案する

児童遊園の運営資金を集める

まずは水道管の補修費用 今後の遊具の撤去補修費用 地元企業へまわる？

児童遊園の仕事を次世代に継ぎやすくする

朝夕の開閉門や施錠を無くしていく

⑦実践編で作った広報物、ツール等

第1回目2024.1.14 イベント



⑦実践編で作った広報物、ツール等
第2回目2024.2.11 イベント



仕事のスキルを地域に生かす、働く世代のまちづくり

**大阪エエまち
アカデミー**

楽しく走ろう！

日時: 2024.2.11
14:30~15:30

場所: 三西皓養社児童遊園
(アンパン公園)
大阪市大正区泉尾1-8

ヨチヨチ

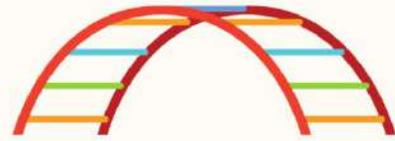
40M  **10M**

の計測 と ラジオ体操 するよ

主催: 大正ママパパ部屋 管理人士井早織
協力: 三西皓養社児童遊園管理委員会



⑦実践編で作った広報物、ツール等



大正区の児童遊園

やさしさのパワースポット

なぜなら

公園をおそうじするのも
遊具を点検整備するのも
木や花のお世話をするのも
みんなみんな
まちのひとのボランティア

Googleマップはこちら
大正区には6か所あるよ

わたしのお気に入りポイントはあ・・・



どの児童遊園も個性的で魅力的。レトロな遊具があるよ。

⑦実践編で作った広報物、ツール等

既存の子育て世代向けSNSを活用



イベントの記録用紙を利用して広報



50m 10m

なまえ

のタイムは

秒



『みんなで走ろう!』2024. . (日)

企画: 大正ママパパ部屋 管理人土井早織
協力: 三西皓養社児童遊園管理委員会



毎月第2日曜日
午後3時30分～

(時期により午後4時～)
清掃活動をしています。

清掃活動の前にイベントを
実施しています。

どなたでも参加自由です

季節によって、活動内容が
変わるので、自然と季節感のある
内容になります。

春→お花がきれい

夏→雑草たくさん

秋→落ち葉たくさん

冬→剪定作業 など

近隣住民の皆様へ

清掃ボランティア募集のご案内



2月11日(日)

午後3時30分～4時30分

三西皓養社児童遊園(通称アンパンマン公園)にて、
ボランティア清掃を行います。

近隣住民の皆様のご協力のもと、地域の子どもの健やかな成長を
育む為の健全安全な広場の維持をめざし、月に1回ボランティア清掃を
行っています。

ゴミ箱整理・枯葉集め・藤棚剪定を行います
初めての方や子ども 大歓迎!

午後3時30分に記念碑前に集合!

*冬季は、30分 時間を繰り上げます**



1月清掃 冬晴れに思わず天を仰ぎました

三西地域外からも、たくさん応援に駆けつけてくださいます
みんなで一緒にお掃除しよう!



「子ども達の明るい笑顔がご褒美です」



《雨天時は2月18日午後3時30分～に順延します》

三軒家西地域まちづくり実行委員会 三西すこやか推進事業執行部

三西皓養社児童遊園運営委員会

お助けマン募集！！

- ・樹木や植物に詳しい方(剪定の)知識がある方
- ・こどもたちに向けて、
運動や自然体験のワークショップをしてみたい方
- ・落ち葉コンポスト 土づくりに詳しい方
- ・SNS運用に詳しい方

仲間募集！！

活動に興味がある方はぜひ
ご連絡ください。

Gmailアドレス

doisaori.online@gmail.com





実践リーダー 土井早織

相談し報告できる仲間がいることで、力が湧き、前進することができました(^^) / 課題整理する手法が面白く、どんどんと課題が整理されていく様子がお見事でした！！子育て中の今だからこそ子どもと楽しみながら活動できるこの地域課題。ますます面白くなってきました！



実践メンバー 澤坂謙吾

どいちゃんの行動力に感服しました。様々な可能性を探っていく中で、最終的には管理委員会の副会長になられたりと、これから楽しみでなりません。これからも見守らせていただきます！



実践メンバー 鈴木千賀子

児童遊園という言葉に出会い、街を見る目が変わりました。それぞれの場所の物語を上手に新しい手段も利用しながら伝え繋いでいきたいと思いました。どいちゃんのアクティブさについていくことしかできませんでしたが、今後も応援しております！



実践メンバー 大上浩世

これと言ったサポートもできませんでしたが、リーダーのお人柄もあって、楽しく活動させていただきました！ 児童遊園、奥深い... パワフルなどいちゃんの姿をみて、私も自分のまちでできることをやっていきたいな、と思いました！



実践メンバー 花岡沙織

児童遊園という言葉をはじめて知ったところからはじまり、児童遊園のこと、街のこと、知らなかったことをたくさん知りました。どいちゃんの行動力にもとても刺激を受けました。